滿州日報

豆行情（中曆三月十九日）
營市元豆六吊百至六二吊二百
營市豆餅價五吊四百文至五吊
營市共上車三十餘輛
營市共來七十餘輛
定買六吊九百至六吊八百

七九牛紙　一全　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
フールスカップ　全　四圓
中判洋紙　全　二圓
半紙野紙　百枚　二十錢
一塵紙　四十枚綴　十四錢

今三紙雜具
一椅子　一脚　一圓五十錢以上
一箪笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一衛兵用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一綿毛布　一枚ニ付　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Telephone No. 29.
Newchwang.

一ケ月以内　一長期連揭載價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

○報價目
每月收取入角代實所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲(横濱)金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫勤　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社　瀛船出帆廣告

立神丸　六月八日長崎行
相模丸　六月三日　太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

萬成源丸　龍口定期
仁壽丸　天津行定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元

松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社　瀛船營口出帆廣告

代理店

千珠丸　六月三日　四日市直行

ブラツレエ兄弟商會
東營口公園地横
遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣棉紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋布手巾洋巾火柴雜貨[illegible]
[illegible]
開設老爺閣街同盛德院內
總司理人　田中穰之助謹白
電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢代客經理買賣粗貨糧運事宜營口東南處自建碼頭能泊輪船二隻棧房地方寬大凡貨輪船裝卸貨物極為利便囤貯油餅豆米麥更為合宜營有輪船一隻名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　秦尭卿謹白

東永茂

敝號油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非淺故油房營業及經理買賣糧貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各商北客經理有年誠信相孚想遐知之
正理事孫玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南第乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料棧房堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤
本主人敬啓

仁裕號

保險運各幇火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北第乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面商是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請認明本行面議
西北街東西義順棧內　櫃（電話九十五番）
櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）　櫻花牌（撒庫辣）百合花牌（利利）均已馳名內外菸特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（陳治來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸君欲購請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙　貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡鐙婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街　電話百三十七號
本行主人啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨真價實以應各主顧局爲之需謹此本主人啓

三井

電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話　第六十六號　第九十一號

周　鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟并代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱鱗太郎
謹啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨與交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東　營口南永世街北斗洋行
　　櫃開設
西　營口西北街塘子胡同內

上海　中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧　至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渟兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

工　飯塚工程局材料部

營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候

關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）
丸重洋行

廣告

今般元神廟街憲甲第二百三十號舊宅合名會社營口支店（澤龜）跡へ移轉仕り外來及入院患者の治療に從事致候此段謹告仕り候也
明治三十九年五月二十四日

酒井醫院　酒井榮次
（電話第一一九番）

青堆子

菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白

本主人謹白

營口

華盛通轉運行

專以代客運送各城貨物包裝火車格外價廉極其方便倘蒙諸君賜顧者請至本賬房面議可也

本行主人　李子鳴
執事人　蘇子ち　楊兆豐
謹啓

東京電報 (五月三十一日發電)

●行賞發表 三十七八年戰役の論功行賞は先づ海軍下士卒より始め去る三十日總員六千四百八十七名の行賞發表されたり叙賜の日附は四月一日なり

●滿韓輸出奬勵 政府は滿洲及び韓國に對する輸出貿易保護の爲め大阪紡績、三重紡績、金巾製織、天滿織物、岡山紡績の五會社の聯合出願を容れ蠟燭、燐寸、セメント、麥酒、海產物、材木、綿糸等總べての商品に對し年四分五厘にて正金銀行の手に依り無制限に融通を與ふる事一個人一會社にて五百万圓以上の輸出を成したる者には更らに五割丈け利子を割戻す事に決したり

●東清鐵道運賃割引 東清鐵道の運賃割引の事は近き中に決定さるべし

●福島次長の旅程 福島參謀次長は六月初旬發途先づ韓國に入り夫れより滿洲を巡視して北京に立寄る筈なり

●外務次官居据 外務次官は依然珍田氏居据りの事となるべし

●黑澤氏の歸任 牛莊海關副稅務司黑澤禮吉氏は今朝當地發歸任の途に就けり

(五月三十日午後六時三十分發)

●諸星の滿韓視察別電 野津伊東井上上村清浦一行滿洲丸にて今日横濱出發滿韓視察の途に上る

北京電報 (五月三十一日發電)

●日本政府の通知 北京に於ける海關問題に就ては日本政府も英米兩國政府と同一歩調を取り既に現制度を繼續する旨其筋に通知したりと聞く

●海關借款繼續 英國代理公使の外務部に對する督促の結果清國政府は千八百九十八年英獨兩銀行よりの借款によりて清國海關の租借制度は借款期限の滿了する千九百四十三年までは現在のまゝ繼續を承認する旨英國公使館に回答することとなれり

倫敦電報 (五月二十九日發電)

●ツーマの宣告無視 昨日開會のツーマ(露國々會)は政府の宣告を無視し民福を增進する方法に付き會議を繼續せり

●教育法案可決 英國下院は百六十二票に對する三百九十五票にて教育法案の第一項を可決せり

●獨乙會議紛擾 獨逸議會は政府委員がダマランドに於ける駐屯軍を縮少することは唯だ皇帝の意志に依りてのみ決定せらるべき問題にして皇帝は已に軍隊縮少を決行せりと言ひしにより更に紛擾を惹起せり

●勞働者保護費 愛蘭人民の体育に鑑み且つ勞働者間に新希望を注入するの目的を以て愛蘭大臣ゼームスブライス氏は勞働者二万五千人に家屋を供給する爲め英貨四百五十万磅と外に每年英貨一五万磅を同樣の目的の爲めに支出するの方案を議會に提出したり

(五月三十日發電)

●外務卿宣言 外務卿サー、エドワードグレーは清國稅關監理方法に付ては現在の組織の儘にて繼續すべき旨を更らに正式に約束したることを宣言せり

●茶稅改正否決(仝上) 英國下院委員會は茶稅を四片に改正する決案につき百七十票に對する二百七十五票の多數を以て之を否決したる上更らに五片繼續說に同意せり

●罐詰業者の激昂 米國勞働委員ネイル氏はシカゴ市の肉類罐詰工場を視察し同罐詰中に恐るべき不正の混合物あるを發見したることを報告せしに依し全國に亘る激昂を來せり

雜報

●滿洲に於ける日本人最初の足跡

滿洲を最初に跋渉した日本人は誰かといへば、九郎判官といひたい譯だが證據がない。露領のニコリスクに義經の墓といふのがあるさうだが、碑の文字には寛永十三年云々とあるといふから、大分時代がちがふ。處がこの寛永年間に實際滿洲へ往た日本人がある。これには少しの不思議な次第もない、ことには彼等は全く漂流人である。生國は越前國三國浦の新保村にて竹內左衛門、同じく子息藤藏の船二艘、國多吉右衛門の船一艘、都合三艘に五十八人乘組み、松前へ商賣に出かけた年月は、寛文五年とも、同十三年ともあるが、いづれも誤りで、寛永二十一年といふのが、朝鮮の漂民送りとゞけの記錄などで確なことが分る。四月朔日、三國浦を出で五月十日に佐渡國を出てから大風に逢うて、十五日目に何國とも知れぬ處へ着いた。土人に逢うて料理鍋を人參三把に替へたのから馴ひつい(て)、彼等をたらして人參を取りに山中へ入つたか實は彼等に誑かされたので、一行の中十五人の外は、皆射殺されて、生殘れるものは奴隷同樣に追使はれて居たが、かの地の官吏の耳に入り、村の者三人と共に奉天へ送られ、三十五日目に到着して、吟味を受け、村の者か日本人を盜賊なりと經告した申條が立たす、彼等は罰せられて十五人の者は丁寧に扱はれて北京へ送られた。一行奉天から三十四五日、若くは四十日で北京へ着いたのが、此の年の十月、十一月の間であつた。これから大に優待され、翌年五月五日に歸國を願ひ出て、許され、十一月末に北京を出發し、朝鮮でも優遇され、又翌年正月七日に京城を出て、三月十七日に對州へ着し六月二日に對州を出て、十六日に大阪へ着いた、即ち正保三年である。この顛末は韃靼物語として世に傳はつてをる。

一行が記憶して歸つた韃靼語、即ち滿洲語は、恐らく日本人が學んだ最初の滿洲語であらう。一をオモといひ、二をヂヨウ(ジュウの訛り)と、いひ、三をエラ(イランの訛り)、四をドイ(ドインの訛り)五をスヂヤ(スンヂヤの訛り)、六をニウコ(ニングンの訛り)、七をナダ(ナダンの訛り)、八をチヤコ(ジャクンの訛り)、九をウヨ(ウユンの訛り)、十をチヨエ(ジユワンの訛り)といふことやら、其の外日常語の一わたりは、北京語とも多少の訛はあるけれども大抵は正しき滿洲語官話から推定が出來る風俗人情のことなども、一々參考になるので、近藤重藏は其の著書邊要分界圖考に畧して引用して居る。しかし近藤は寛永二十一年を誤つて寛文五年としたので、年代が狂つて來て、其の話の中の最も面白い史實を等閑に看過した、韃靼物語に云く

韃靼總王の御名はチヤウテン(朝廷)と申奉り候、御歲八歲にて御座候由、日本の者共北京に居申候時この王北京へ御引越被遊候臣下衆の事、キウワンズ、バトロワンズ、シイワンズ、ホウワンズ右四人御名を覺え申候(中略)右のキウワンズは王の叔父にて御座候年三十四五歲と相見え申候、ほそく痩たる人にて御座候この人第一の臣下にて上下共に恐れ候、御前近く召出れて、御懇ろに仰られ候、右のバトロワンズと申候はキウワンズの兄にて候へば、是れも王の叔父にて御座候へども、荒き人にて分別あらき故、御仕置には御構これなく候由、年五十歲許りに相見え申候、いも顏にて太く逞しく恐ろしく見え申候(中略)シイワンズこの人はキウワンズの弟にて候年三十二三歲に御成候が殊の外學者にて御座候由申候(下略)

寛永二十一年、即ち正保元年は、清の世祖順治元年で、此の歲五月清兵北京に入り、十月帝は北京に移つたので、時に年七歲である。漂流人が八歲といふのは、傳聞の誤りで、その他の事は符合する。キウワンズ、即ち九王子は清の攝政睿親王の事で、これは當時朝鮮人が持つて來た時にも清の九王が八王、十王等を率ゐて李自成を逐ひ南京まで取つたといふことが華夷變態といふ書に載せてある。バトロワンズはこの八王で、即ち英親王のこと、バトロは勇者の義だから、英王の武勇を稱したのであらう。シイワンズは十王で、即ち豫親王である。清の宗室王公傳によれば、睿親王は順治元年は三十三歲豫親王は三十一歲になるが、一二歲の相違は、容貌から考へたのだから免れ難い。漂流人か見たる三王の容貌性質は、當時の史傳を讀む上に大に興味を與へる、中にも睿親王の人と爲りが活動するやうな心持がする。ホウワンズは肅親王豪格のことであらう、豪の音はハウである近藤重藏は之を寛文年間、即ち清の康熙年間の事としたから、大にトンチンカンになつたのだ。之を正當の年月に引直して見ると、清朝開國史の第一頁を實見した漂流人の奇遇が大に歷史家に感興を與へる譯である。

少しく牽強かは知らぬが、かのニコリスクに在る日本人の墓碑も、或はこの寛永年間の漂流人の爲に建てられたのであるまいか。尤も船頭の墓にしては、チト大層過ぎるがその外にあまり心當りもない。十三年といへば年も違ふが、これは讀碑者の誤りかも知れぬ。とにかく滿洲を跋渉した日本人のたしかな記錄に殘つて居るのは、この韃靼物語が最初であらう。(黑頭)

●滿洲經營策

滿洲經營調查會は其の設置後屢會合を重ねて取調べを進捗し西園寺首相が滿韓視察の途に上れる以前已に大體の方針幷に其の實行の手段方法をも內閣に報告したり其の要は滿洲の鐵道鑛山森林の三大事業を經營する爲め官民合同の一大會社を組織し政府は其の持分に對して滿洲に於て已に所有する鐵道鑛山其の他の物件を提供するものにて其の評價額は現在の儘にて約七千萬圓と算せらる之に加ふるに所要の運轉營業資本を以てすれは會社の總資本金は一億圓を下らざるべく尙鐵道の改修新設、鑛山の採掘等所謂滿洲經營を完くするに就ては巨額の資本を要するを以て會社組織の際に於ける總財產擔保として相當の方法に依り約一億圓の資金を他に仰ぐ筈なりと

●露韓外交關係

露國政府が曩に帝國政府に對し日露開戰後即ち明治三十七年五月韓國政府が露國に何等の交渉をも爲さず獨斷に露韓條約を廢棄したるは國際法の原則に反する旨を抗議し及び帝國政府は之に對し當時已に日韓攻守同盟成り而して日露の國交斷絕しゐれば露韓條約は自然消滅したるものなる旨回答に及びたるは既記の如くなるが其の後露國政府よりは未だ何等の交渉をも開始せざるを以て目下韓國と露國とは無條約の姿なり何れ京城駐在露國總領事プランソン氏着任の曉は帝國政府に於てポーツマウス條約第二條に依り露國にも最惠國待遇を與ふる事を約したれは厚意上同領事の駐在を許可すべきも韓國政府に對し露國より直接交渉するを許さず總て帝國政府を經由せしむる方針なりと

●ス將軍の罪案

軍法會議の結果死刑の宣告を受けたるステツセル將軍の罪案は左の如し而して有罪者として旅順開城の責を負ふべきものは同將軍一人と決定したるなりといふ

第一、ステツセル將軍の開城不可避に關する報告は單に辭文のみ信用するに足らず

第二、旅順に當時尙六十日間固守するを得たるなり

第三、開城より四日以前に開かれたる高級武官會議に列席したるものは十七人なりしに其內四人の外は何れも開城に反對したり

第四、ステツセル將軍は開城始末書を公式に作成せず

●羅暹皇族の御消息 ナコンチヤイシ親王殿下には安東縣より陸路去る廿六日奉天に御到着の事は我社奉天特電に報じたる所なるが今其後の御消息を聞くに同地には三日間滯在の上一昨日大石橋に立寄られ即日該地御出發旅順大連御視察の上御歸國の御豫定なりと云ふ

●新造の驅逐艦 軍事費を以て建造に着手したる驅逐艦三十隻中神風、初霜、彌生、子日、如月、長月、菊月、朝風、夕暮、若葉、春風、追風、白露、初雪、時雨、夕立、響、朝露、白妙、初春、疾風の廿二隻は既に進水を終へ近々進水すべきは佐世保工廠に於て建造中なる三日月にして殘り八隻に孰れもキールの据付を終りたれば右八隻とも本年中には進水する見込なり

●乃木大將の同情 ステツセル將軍の死刑宣告說に就き乃木大將の語る所左の如し開戰前後より今日に至るステツセル將軍の境遇を考ふれば同情に堪へざるものあり將軍が旅順に於て各部下の統一に爲し得る限りの苦辛を爲したるは內外人の熟知する所蓋し將軍は外部よりの想像よりも一層困難なる苦境に立ちたるは事實なるべし既に旅順に於て將軍の身邊に反對者ありたりとすれば今日本國に於て死刑宣告を受けたりとの說あるも全然之を無根なりと打消す能はさるを悲む將軍の消息に就ては副官より予の副官に文通ありしが近時健康を失ひ露都を離れて靜養中なりと聞けり予は內山少將に將軍の近況を報せん事を托し置きたれば近日其の音信に接すへけれと若し風說の如き事實ありとすれは將軍の爲に一掬同情の涙無きを得ず云々

●珍田次官留任說 珍田次官更迭說は同官が久しく內地に在りたるを以て此の度は外國使臣たらんことを希望し居たる迄にて林外相は內部の事情に精通せる珍田氏を急に海外に派遣することを欲せざるよしにて別項電報の如く當分留任に決定したりとの說あり

●露國降將の死刑 或向に達したる電報に據れは露國の降將ステツセル及びネボカトフ二將軍は今回軍法會議の結果愈死刑を宣告されたりと

●獨帝暗殺陰謀 過般獨逸ローレン州ウルミル府に於て獨帝暗殺の陰謀露顯し一大恐慌を生したるか去る九日五名の無政府黨員右嫌疑者として捕縛せらるゝ際孰れも多量の爆彈物を所持し居たる由にて獨帝の同府行幸を機として陰謀實行の筈なりしと

●ロ督の審問請求 露國の對馬海峽に於ける海戰審查委員は當時ロゼストウエンスキー提督か旗艦より移乘したる後降服したる水雷驅逐艦メドヴイ號の乘組員を軍法會議に附すべき旨の決定を爲しロ提督に對しては同提督が降服の當時負傷して人事不省なりしを以て起訴せさる旨申渡したり然るにロ提督は右審查委員に對しメドヴイ號の士官水兵等を軍法會議に附せられ獨り自ら免るゝに忍ひさるを以て右士官等と同時に審問あらん事を請求したりと

●二年兵役制の調查 今期議會に於て寺內陸相か公約せる二年兵役制度は不日御裁可を仰ぎ決定を見るに至るべしと傳ふるものあれども確聞する所に依れは該制度を實施するに當りては之れに關係を有する諸條例の改正教育制度の改正經費の調查等に就き審查を要する所多ければ此等諸般の調查結了の上ならでは上奏御裁可を仰ぐ運ひには至らず目下當局者に於て關係條例の調查審議中にて四十年兵より實行を見るに至るべしと云ふ

●三笠浮揚せん 沈沒艦三笠の破裂箇所は非常の時間と勞力とに依りて全部發見し終りたるを以て今回愈々引揚に着手したる由なるが當局者の見込に據れは大抵浮揚すへしといふ

●浦港行船舶の注意 長崎駐劄露國領事より長崎縣知事を經て左の通り通知し來れり水先案內者を乘船せしめず浦潮斯德港に赴きたる汽船メテオル號敷設水雷に衝突したるを以て該港に入港せんとする汽船はアスコルド島に於て水先案內者を雇入るべき旨浦潮斯德商港港務長より通知ありたり

●露領樺太の不穩 過般露領樺太に於ける罪囚の一團破獄を企て多衆逃走して良民の資財を掠奪し且つ殺人等の罪惡を恣にしつゝあるを以てアレキサンドルフスキー駐屯軍より鎭壓の爲め軍隊を派遣したりと云ふ

●錫蘭留學生來らん 錫蘭の貴族にして同島コロンボ市の富豪ダルマパーラ氏の父は數回本邦に來遊せしことありしか去る二月死去し其遺產中の土地數萬圓を割き其收入を以て每年日本へ留學生を派するとに決したれは多分本年九月頃より若干の留學生來朝すへしと云ふ

●六一本部の移轉 是れ迄牛家屯に其本部を置きたる步兵第六十一聯隊は軍事上都合に依り來る三日大石橋に移轉する旨同聯隊長三上大佐より當地軍政署に通知ありたりと云ふ

●東亞同文會大會 去る十四日午後九時より芝三緣亭に春期大會を開く來會者は鍋島侯、島津伯、清浦男、犬養、伊澤氏を始め其他二十餘名にして鍋島侯會長代理として開會の挨拶を述へ根津幹事長の事務報告あり清浦男座長席に着き副會長選擧を行ひしか多數を以て鍋島侯當選せり尙本部の役員改選を行ひ何れも重任に決したり又新に今回評議員を設くることとなり選擧の結果大谷嘉兵衛、林權助、加藤正義、中橋德五郎、近藤廉平の五氏當選して閉會夫より直ちに別席にて清國公使館員其他來賓を招待して晩餐會を催し午後八時頃散會せり

●馬賊の匪首逮捕 遼陽を去る西方二十清里劉二堡にある馬賊猖獗を極め目下官兵之れが討伐に向ひ對戰中なる次第は既記の如くなるが同地に於て馬賊の匪首と目すべきもの四名を逮捕し去る二十七日遼陽に護送せりと云ふ

汽車時刻

關內外鐵道

上り

營口發前八、一〇 七、〇〇
溝幇子同九、四五 九、〇〇
錦州同后三、四五 二、〇〇
山海關着六、〇〇 八、一〇
山海關發前六、一五 五、〇〇
塘沽同后三、一〇 四、一〇

下り

山海關發前七、〇五 四、四五
錦州同后三、二五 二、〇五
溝幇子同二、四五 四、四〇
營口着四、二五 七、五一
北京發前八、〇〇
天津同一一、〇九 六、二五

東清鐵道

新民屯發前六、〇〇
溝幇子着同九、五七
溝幇子發后三、〇〇
新民屯着同六、三〇

上り

營口發前六、三〇 后九、三五
大石橋着同七、三〇 一〇、三〇
大石橋發前八、〇五 后一一、〇五
南關嶺后九、〇七 零后三、〇七

下り

大石橋發前八、一五
營口着同九、一〇
大石橋發前七、…
奉天 同后…

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに由り料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊

營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十七號)

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
郵便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料

營口シツブ定商會東門街
川喜鐵工場

天氣豫報

營口地方天氣豫報
南の風晴れ
自三十日午後六時至三十一日午後六時
昨日の氣溫
昨年の同日

雑報

●口記の一節（上）　なつ子

習ひ性となるとかや實に習慣の力こそ强けれ妾の初めて此地に來りしは宛も去年の今日にてありき當時妾の心には何等の分別もなく又何等の思慮もなく唯た勸むる人の言の葉の美しさに騙られ異なる國の様を見るが珍らしさに外ならざりしこそ淺墓なりしか、營口に着してより七日目に妾を伴ひ來りし人は飲食店をぞ開らきける、かくて妾は客の席に酒肴など運ぶへき身とはなりぬ是れまで母の膝元にのみ甘い居て浮世の浪風など夢にも見知らぬ妾は客の前に額つくことのいとも怖く～しきまゝ何時も襖の外よりのみ押しやりき去れ共客なる人は早くも妾を見付け玉へ用捨なく座敷に引き入れ無理酒を强ゆるだに無禮なる業なるを聞くも汚はしき戯れ言に果てしもなく遂には袖を捕へ手をさへ握るへく蔑まるゝに妾は腹立しさに堪えかねてフイと逃げゆくは常なりき以來妾となく夜となく斯ることのみ多かりしかば妾の口惜しさと悲しさとは日増に募りて譯もなう涙のこぼるゝと共に漸う～頭の重くなるを覺え來りぬ或は學ひの窓に親しき友と唱歌競ひし樂しさや稚き弟妹と小山に花摘み遊びつる嬉しさなど繰り返して故郷を戀しみ、或は今の身を悔みて行末の如何になりゆくべきやを案じ煩ひて身の毛を悚立て夜一夜泣き明かして恐び狂うこと屡々なりき一日餘りの胸苦しさに市の賑ひなど見んには聊か紛れ慰むるふしもやと涙に腫れし瞼を青き眼鏡にて掩ひ何處を的途もなくそゞろ歩行せしにさても亦忌はしや見知りもせぬ賤しき風情の男のアナタにてもコナタにも聲かけて譜謔のみかさては支那苦力までが手眞似素振もて侮るさまの口惜しさに急き踵を返してまたもや愁ひこもれる部屋に泣き沈みぬ折しも怖ろしき傳へは妾の耳に響きて一層の驚きを重ねしめぬソハ斯る營みの家に住める女は月に數回の檢査といふことありとソモ妾は明日に迫れりとのことにてありき嗚呼昔語に聞きつる人身御供とやらも今は數ならす生きながら斯る耻しめを忍ばんことも中々に思ひもよらず妾は之を聞くと等しく呼吸の苦痛と逆上とに吾を忘れ夢見る様に轉びて限りなき悲みの底に沈みぬ若し斯ることの國に在す兩親に聞えなばその御怒りとお嘆とは如何ならん幼き弟妹のことを知りたらんにはその驚きと怨みとはいかばかりにや親しき友、近隣の人のさげしみに對し何とて面目を雪ぐべき此を思ひ彼を念ひば身は千仞の奈落に引き込まるゝ樣にて恐ろしなんぞいふばかりなし妾は忽ち覺悟を極めぬ生き耻を外國にまで晒し延いて兩親弟妹の面目を傷けんより寧ろ潔ぎよう自ら果てんにはと、時しも夜更け人鎭まり犬の遠吠のみいと微かなるを幸ひ惠み深き母上の賜へし短刀を取り出だし鞘拂つて滴る刄の光りを薄燈に眺めし折は頭も澄みて輕く、心も落付きて清がく～しく宛ら雨後の明月に於けるが如き思ひありき

●お高の魂膽　時折り三面子の鎗鋒に突き上げられて世間に浮名を晒らされた日本館のお高は生懲りもなく種々のことを目論見居ると見へ壁に耳ある喩胸に如何なる事を巧で居るか顔にさへ出さねば人は知るまいと自分一人が何處までも澄し返つて居るお高の魂膽こそ實に恐らしけれ先日の事なりし或る男と密會せし時の物語りを聞けば豫て話の通りアノ市場の軍清正は餘ツ程妾に誤座つてるからモー締めたものだけど癪に障るは彼の新聞社の奴等で人の顧みもせぬのに餘計な事を書きアがつて人の秘密までも發き居るからヂレ清正も一時は餘ツ程思案して居たけどソコは追が妾のことだから抜かろう筈はなく巧く揉み消して仕舞つた所が近頃アレガ言ふに乃公も江戸つ子の意氣地だ少し喝の手前をつくらつて直ぐにお前の顔を立てゝやると吐かすではないか、だから今暫らくの間辛棒しておくれ若し貴郎さんが今までの様に妾しの所に時々無心に來ることか親方や新聞社の耳に這入つたらソレこそ大變折角巧んだ仕事も水の泡となる様になるから後生だから暫らくの所無心に來ることは止して頂戴新聞社のへナチョコは何でも素ハシツコイ奴だけども妾がアレから五十圓貰つたのは知る氣遣ひはないが斯ふ話したことが知れぬとも限らぬからなどの話しを其儘

●これも戀　これも戀かや浮世の態の十人十色なるぞ可笑しき所は遼陽に名高き喇嘛塔の下其名に因む遼塔ホテルと云ふに近頃見馴れぬ一人の美形あり年の頃は廿五六に見ゆれども夜目には艶に美くしうして漸う二十前後とも見へ當世顔の細面色飽くまで白く花を欺みし唇のいと清げなる眼元に湛ふる愛嬌は露を滴るばかりにて姿さへすらりと稍ゝ瘠形なれば靜淑らしき薄化粧の一入ひき立ちたる風情宛ら巫山の神女が雲となりしてふ夢の面影も斯くやありなんと思はるゝばかりなりと云ふは些か大袈裟なるべけれど先づ以て遼陽では二と下がらぬ美形なるべし此の美形名は淺子とて生れは中國の岡山とかにてかねては朝鮮の京城に艶名を留めたる白拍子浮き川竹の憂き節を術は數へ足らねにや遙るばる霞籠めたる遼陽三界に流れ着き又もや遼塔ホテルより左褄をとる事となり今三線稼ぎの手續中なりといへば日ならずして粹士の目を引くに至るべし去るにても此の淺子の始めて遼塔ホテルに着きたる夜折柄他用にて來合せたる川三組の主任とかいふ井上某なるもの逸ち速くも初物喰の本性を顯はしてそれと云ひ寄るに元來金が本能寺の信長なれば淺子旅の疲に余りは進まねことながらも厭とは云ひかねて忽ちに床かしき契の結ばれて後朝の鷄の聲さへ恨めしう名殘を惜しむ程もなく二人の仲は日增しに厚くなり行きて夜晝の差別のあらばこそ遼塔ホテルの壁の上に二人の姿の映らぬ日はなしと近所の噂とり～～なるまゝに後の便りを待ちつゝかくなんゐなかして

●火傷者の死去（遼陽）　先日の大火にて全身に火傷を負ひたる氣樂亭事和田惠吉の妻おはる（二十五才）はかねて遼陽州官設醫院へ入院し治療し居たるが藥石の効なく去る二十九日終に死去したりと云ふ

投書かご

▲貴社新聞此の二十九日から其の日の分を即日に配達して貰ひ何となく營口に住んでおる心地せり此迄に比し一晝夜半速着する様になり吾々購讀者は實に滿足す（遼陽愛讀者の隊長）▲南和館の花子チャンイクラ大連によいのがあるとて瀛車通ひは止めたら宜からう（遼陽焦るゝ何とし よ坊）▲遼陽には無鑑の太夫でなく醜婦が何處にもおるげなそれで枕頭に侍しお髯の塵をはらうそうな誤用ぷく～（それ見た傳染程）

廣告

廣告

弊館來本月四日ゟ向十五日間祝開業二週年左の方法を以て**美人投票**

容貌及遊藝の秀でたる美人各一等より十等迄を當撰者と定め左の賞品を贈與します

一等　純金指環　元價　三十圓
二等　寫眞機械コタツク　同　二十五圓
三等　全紙二枚掛引伸　同　二十圓
四等　全紙行伸　同　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半
七等　八ツ切　三圓半　八等　カビネ　二圓半
九等　紀念帖　一圓半　十等　繪はがき　三打

等級は最高點者を一等とし以下之に準じます
右の内一等より五等迄の當撰者は精巧なる寫眞銅版とし廣く滿洲日報購讀者へ配付し名譽を世界に發表します
以上の方法を以て美人投票仕度候間御賛成の諸君は弊館に付て投票用紙御求め被下度弊館は撮影金額に應し（一圓に付十枚の割）投票用紙を進呈します一時に多數御入用の方は便宜上弊館の寫眞撮影券を御購求下されば同上の割合にて進呈します右撮影券は二圓五十錢、五圓、十圓の三種にて六ケ月間有効です体裁等も頗る高尚なれば進物用にも適し至極重寶です
投票の場所は永世街鶴の湯の前、日本町東京館附近、三船寫眞館路地の三ケ所に備てあります、から隨意に御投票を願ひます、投票の結果は公平を保つため滿洲日報社員及料理組合事務所員の立合を請ひ開札し毎日滿洲日報に掲載します

月　日
營口元神廟街
三船寫眞館

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門内景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

●森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す　（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森　矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

○營口○──○大石橋
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗温泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
海城 ○ 口湯崗温泉仝停車場 ○ 遼陽 ○ 奉天

營口青堆子街三百六十四號
硝子製造　菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY.
No. 364, St. Chingtaizu' YINGKOW.

産婆　川口榮子
營口永世街甲第百〇三号　第二市場停車場西側

官製口付莨、文房具　和洋酒類　罐詰、菓子　藥品、雜貨　醤油瓶樽詰　防寒具、安價販賣　御商
（十一）豐生洋行
營口西北街　（電話十三番）

軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類　御小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十号（第二市場東）
石原商店

古料理
満月　平野町（電一六二）
満月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街窓第三十六號
北斗洋行質屋部

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

御料理
板場新來丁料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ雪月花ノ會席ト仕餘打テ一圓ノ御意ニ從ヒナンデモヘグンシンピヨガイヲ ヲス
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで　全　松吉　全　二〇か
義太夫　牛莊
御客樣方

銘酒劍菱
新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向と
池上出張店

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

和洋雜貨及紙類
大販賣
奉天城内鐘樓南大路西
千賀洋行
(電話)

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社 營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關内外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連接)東清鐵道沿路緊要各站分局現方在設備中
倘蒙遠邇貨客愛顧必祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議貨件特護白傳路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按御地市價包補此

第三回新荷着

金艸洋行
盛進商行

氷
田庄臺大盛貯氷公司
飲料好適
發賣元
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
營口元神廟街成功號三階
(電話一三四)
特約販賣店
營口二本町日莊洋行方
丸山氷室
(電話一六九)
營口永世街(大和館向)
三輪衛生軒

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

東清鐵道
遼河 貨物運送業
裕和盛
電話八一番
營口西北街
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒洋の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
内外煙草、藥
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
毎月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

木材 棕子 木板 發賣
塩川商會
遼陽小西門内
鹽川商會
●建築用材北海道產松大角(自二十五尺至三十尺)二万立方尺餘
外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

商標
夏もの大賣だし
永世街第貳市場前
木村呉服店
五月二十五日より六月四日まで
抽籤ヲ以テ景品ヲ呈ス
(電話八八)

ペンキ塗請負
京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醬油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
石
石光洋行
營口西北街
遼陽西門外
石光洋行支店

SK
一船毎に新形流行品到着!!
中折帽子、夏座蒲團、夏屏風、硝子球
浪花簾、花莚、電光燈、文明厨爐
簿記臺及椅子、藤製長椅子
揮發油、樟腦、薄荷油
のみとり粉
洋紙

今回海陸連絡の便を計る爲め當行滊船顯朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸中國丸の四隻を以て大坂、神戶、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲内地には左の箇所に出張所を設け海陸及輸送輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候
本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
營口元神廟街 松茂洋行
支店
大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所

深ゴム編上靴新着
黒 赤
營口永世街
盛進商行
御小賣共特別廉價に御顧可申候

宮門抄

初五日
戶部　宗人府　正白旗值日無引見　黃思永謝授侍讀學士
恩　楙壽續假五日
召見軍機
順天府遞封奏一件　財政處遞封奏三件
初六日
禮部　太常寺　正紅旗值日無引見　順天府奏京師得雨二寸有
餘
召見軍機

上諭恭錄

初六日奉
上諭五月初一日夏至大祀地於方澤朕親詣行禮四從壇派黃
永安恩輝德茂希璋各分獻欽此

奏議

財政處奏議覆推廣各省土膏統捐大致辦法摺
奏爲遵旨議覆事據戶部右侍郎辦理土膏統捐事宜柯逢時奏籌議推廣各省土膏統捐大致辦法一摺光緒三十二年三月初七日奉硃批財政處戶部議奏片併發欽此欽遵由軍機處抄交前來臣等查原奏大旨以鴉片流毒甚廣因思寓禁於徵之法先於土藥開辦統捐復於洋藥籌議加捐總期土藥洋藥按價值以定科則不使畸重畸輕庶商人無所趨避實至良法至美也其辦法分爲六條內洋藥加捐一條查光緒二十九年駐義使臣許 奏請加徵洋藥由駐英使臣與英外部商辦嗣英外部覆文謂必須土藥與洋藥一律加徵方能公平商辦十年十二月該侍郎以推廣土藥統捐奏請纘議洋藥稅釐照土藥一律加徵等因欽奉硃批該衙門議奏欽此此次所議加捐容臣等妥行籌議歸併前案辦理此外各條一統定科則無論何省所產何省所銷局收關收皆定爲統捐銀一百兩隨收經費銀一十五兩均收庫平其各關向收關平者準庫平折算等語查此次推廣土膏統捐於原定八省之外又合直隸等十省同時並舉管轄既廣綜攝爲難必先明定畫一章程庶足泯偏畸之弊該侍郎所奏係本奏定八省土膏統捐章程而損益之均爲確實不易之辦法應請照辦一內外兼籌此項土藥統捐凡各省向來每年抽收若干應即全數撥還其新增者乃充新餉至各關收數應照宜昌關均以近年報關撥數爲定額各省原抽稅捐數目分別撥還其較原額溢出及較原章溢收者稅捐全數提解等語查該侍郎所奏係遵光緒三十年 諭旨辦理惟所稱各省關收數均照近年所報全數撥還一節原摺並未指定何年應均以各省關所報三十年分收數爲斷以歸一律又原奏所稱如收數增多而該省或有急需可由各督撫咨商戶部通融挪借一節與臣等請開辦統捐摺內奏定他省不得援兩湖兩廣爲例辦法未免兩歧況既奉 諭旨溢收之數另儲候解專作練兵經費的款不得挪移自應遵 旨辦理若聽其咨商通融恐將來漫無限制應請嗣後各省如有軍務急需准各督撫引廣西成案專摺奏請由臣部察覆酌撥其別項用款概不准援例率請挪移以定限制一保護商人土藥統捐一道收清黏給印花執照聽其銷售如有刼案地方官坐視不理一經稟告得實即行撤任留緝荒僻之處酌量添撥營勇巡船等語其意責在地方官力爲保護與第六條所請獎勵賢能參辦貪邪各節激勸兼施寬嚴並濟所以澄官方即所以恤商力其所稱一切苛細之捐概行停止尤深得立法之本意應令該侍郎及各將軍督撫通飭各省關局卡一體遵照辦理如有巧立名目藉端需索查出即行嚴參一禁設煙館查此次辦理統捐意在以徵爲禁且與該侍郎咨送詳細章程內仍收燈捐一條未免自相齟齬應請暫從緩辦抑臣等更有請者此次開辦統捐既由八省而推廣十八省則東三省新疆應亦在推廣之列相應請 旨飭下該侍郎與東三省新疆各將軍巡撫會議合辦以綜事權而昭畫一至該侍郎咨送詳細章程臣等公同查閱逐加考訂一併開具清單恭呈 御覽即將此項章程仍寄該侍郎刊印分行各省遵照開辦伊始所有一切辦法大致畧定其未盡事宜及將來有應行變通之處再由臣等妥商辦理所有遵 旨議覆緣由理合恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒謹 奏奉 旨依議欽此

中外要聞

●外部復照不允英使邀求　英國駐京代理欽使喀參贊前因稅關事照會外部極力反對請照舊辦理乃由外部覆照申明所以特派稅務大臣之原由但英代理欽使見之頗不滿意乃復備文照會外部請收回成命並請領銜欽使邀請各國駐京公使集議對付之法外部因事關係重大會同軍機集議辦法並派唐侍郎赴津與袁督面商磋商者旬餘於初五日始備文覆照英使堅持前議未肯允認英使要求閱英使頗爲不悅云按日前各國駐京公使集議不以外部覆答爲然決議略云俟再接外部覆答即再集議對付之法然後散會乃此次外部仍持前議則各國公使必再議對付方法不以外部之覆照爲然兩相反對恐竟成一大交涉矣

●俄政府不允認議院邀求　俄政府於此次向議院提議事項現已允認施行普通選舉權然廢除軍律並頒佈大赦恩詔一併赦免所有罪囚一事均表反對又將特別法律及徵收土地法一律作廢查土地法將士商所有土地由政府强行購買以防富室之暴橫爲便農民之生計即改革情形起見實係因議院之籌劃也但俄政府之意擬將官地租讓於農民云

●俄議院邀求內閣開缺　俄國議院對於各部大臣邀求宜奏請內閣開缺

●德反對南菲之邀求　德國議院反對南西亞菲利喀洲添加要求事項並開辦獨立植民省一事

●英法贊德相之演說　德相磁比爾斯基男爵於此次議院演說一節由英法二國頗表贊成

●南菲匪決與英戰　南菲那達爾匪魁等現已停戰數日之間以便商議和戰而定去就然有巴木巴達人慫恿匪魁現以續戰爲長計聞那達爾人現爲猛行突擊起見刻正預備一切

●美使助英抗議派稅務大臣事　美國官場消息云美政府對於中國派稅務大臣節制稅務一事飭令駐清欽使柔克義君與英國協同抗議

●俄各大臣之危險　俄國刻下風潮不靖現擬加危害於各部大臣云

●戴端將次回國　中國出洋大臣戴端兩欽使現前往普拉塞爾府聞勾留十日後自該地啓程路經馬爾塞爭搭輪回國

●覲見公使緩期　向例春秋一期 兩宮在頤和園覲見各國駐京欽使參贊隨員與夫人並賜宴日前 兩宮傳 旨外部照會各國駐京使署援例擬於月之八九兩日覲見各國駐京使臣及夫人等然適值 皇上聖躬不豫現外部已備文照會各國駐京使署緩期覲見

●英員謁楊中丞之誤會　此次英國駐威海衛行政委員柔克赫德君抵濟南晉謁楊蓮帥魯省上海等以爲柔君此行係因商歸還威海衛事與津鎮鐵路事宜各報紛紛傳爲的確本報亦依有聞必錄之例已誌前報茲聞確實消息云柔克赫德君此行專爲晉謁楊蓮帥以聯中英邦交起見並不與歸還威海衛事及津鎮鐵路事相涉實係外間擬議之詞又聞官場消息云外部夙有收回威海衛以爲海軍根據地之意然因目下情形不便交涉未向英使提及此事想英政府亦無歸還之議至外間紛傳英國歸還威海衛條款等事全係擬議之詞毫無實據

●岑張爭調余臬　江西降二級調用之余堯衢廉訪現已卸任到鄂張宮保擬留武昌委用聞岑宮保亦擬奏調余臬赴粵差遣蓋以余爲瞿大軍機姻親均欲藉以資聯絡云

●文韞以京堂用　前任奉錦山海道文韞因□奉 旨賞給四五品京堂來京候用該京堂已到京吏部將以卿貳之缺請 旨簡任

●議加領隊大臣廉俸　聞政府王大臣會商查各省領隊大臣地處邊陲異常清苦近年又係減半支給廉俸實恐[illegible]寖莫繼反致有礙辦公擬即奏請敕部核議即將各領隊大臣養廉統按十成支放以示體恤而重邊務

●閩派員赴南洋考察商務　南洋各島向爲閩粵人之殖民地聞日前閩督崇佑帥電致商部略云現值振興商務之際頃已派在籍紳士候補道陳毓材前往南洋各島考察商務情形俟考察後再赴英荷二國領地

●馬賊滋擾彙聞　口外喇嘛廟地方聞有大幫馬賊竄擾搶掠已請熱河都統廷都護速派兵往勦
朝陽府與奉天連界蒙荒邊遠兵力難及故奈曼王旗時有馬賊排隊橫行搶掠蒙人牲畜財物任意滋擾該蒙王現急力講求自衛之策
內蒙科爾沁王旗現馬賊滋擾稍見平靜因該蒙王已練有新兵並購新式槍械以資彈壓然該旗邊界仍不免馬賊之患
奉天錦州界有洋商開挖煤礦日前有馬賊將行搶掠經駐錦北洋軍速往勦捕該馬賊遂竄入昌圖以北仍在蒙旗荼毒搶殺兇燄不少戢

●濠紳歡迎日員　濠洲西杜尼府官紳迎迓日本兵輪將士頗形懇摯此日雖值微雨然士商踴躍歡迎毫不減色

●公司協同開航　喀耶杜、儆賓斯拉、窩理延杜、巴西菲克等各輪船公司現已宣明關於東亞及濠洲航務聯絡一氣以便協同開航

●英議減兵備事項　英國上院開議於減縮兵備一事現由各議員激論已久乃里本公爵申明凡撙節兵款與減縮兵備自有鴻溝界限政府須撙節兵款以副衆望然減縮兵備不容有稍忽防衛之一日但減縮兵備一節非由列國經同心實行則不能辦到也

雜報

●訪員聲明　本報二四四號載有來函照錄一則係鳳城右堂莊君所敘憤激詞色畢見紙上幾若聽之有聲令人毛髮俱悚足徵誤被汚衊不虛斯殆業賭者流未得暢其行賭之謀乃施含沙射影之投揑造汚衊之詞謀壞人之官聲用遂其志然而爲斯謀者絕非莊公意中所料之人即予訪事者亦不知其人爲誰也蓋有德者必有言閱君之言亦鴻才濶達之士諒不致有卿於意中所介之人否則實誤卿矣而予爲訪事者之罪咎愈大矣斯誠予之一時未加詳審聞而妄動鄙忿筆傳太刻始知吾過矣吾過矣予虛度一生從未聞君子之大道也莊君其諒之乎至函索原稿實無來稿之事亦無其人則傳聞之誤及予謬呈主筆之處實不能詞其咎亦不願嫁禍於人揑造姓名以實之君其再三思之勿錯怪可也

●假館花叢　昨聞阜民傳曰魚業公司總辦黃太守業將魚捐款項辦訖前日帶同從人進阜與官紳各行展謁仍假館於魁茂棧院內咸曰該院名賃居於勾欄該太守雖非現任既係四品職銜又爲公司總辦亦宜潔擇行臺起居肅靜乃於該院官妓雜處相爲比鄰似不相宜或以採館不易耶抑該太守有愛花之癖故於此卜其居耶是則私意所難測者耳

●傳修支路　昨由盖州來人言由海山塞以北直抵阜南大水塘沿路散簇工頭相傳要修支路直接阜內亦有云修馬路者未悉孰是云

●過劫負傷　昨聞友人云有山東顧姓者在鞍界夾皮溝淘金爲業十餘年忽動思鄉之念共湊金砂二兩許外有零碎紋銀十餘兩隨身携帶行至潘陽南大路烟臺處忽遇紅鬍子二人突然發一槍彈由脛穿皮而過身帶之財如數搶去手無分文乞食來營昨午後有人見其受傷之處尚用白布纏裹云云

●餅油行情　豆拌價洋十三元二角豆油價洋八元五角

叢談

●海中冰山　凡冰一立方英尺重五十餘磅水一立方英尺較冰更重七磅有奇故冰山雖極大亦能漂浮於海水中其顯露於水面者不過九分之一而在水面下者常有九分之八也冰山在北緯一帶皆由北而往南船行往往遇之其大無比有於大西洋之北見一冰山高出水面四百尺又有曾見高出水面六百尺者而南緯一帶則冰山多由南而往北甚有高出水面一百五十尺之距者一千八百五十四年某商船在澳大利亞見一冰山其形如鈎弧長一百八十六尺弦長六十尺且有一船駛入鈎間以至覆沒蓋船遇冰山爲最危險之事或黑夜或大霧猝然相値鮮能幸免近日測驗之法如在船中覺天氣忽冷即當防冰山之行近船旁更以寒暑表測海水若熱度驟降亦可豫知其有變南北兩極之冰山皆行至赤道下而消融始盡

●攝影治眼　人有眼病往往在於瞳子一千八百五年有醫士創一驗眼鏡此不過借燈光以射入眼內並未欲攝影於紙上也近日德國柏林某醫士本爲眼科專家發明一種攝影驗眼鏡能顯眼中微疵於照片先取猫睛試驗之旋更改良加精遂以攝人眼之影因燈光不足改用電光僅一閃爍間其影即留於玻璃吾知此鏡既出眼病之源不難攷得亦眼科之大進步也

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　元神廟街九十六號（電話八四番）　第一營口ホテル　第一樓

料理　永世街百八十三號　入船亭　谷初次郎

御料理並ニ溫泉　毎日新湯　營口永世街　一力　店主　堀万助

旅館　河岸通り　日營ホテル　店主　井上源吉

料理　永世街八十六號　東京館　店主　村上京四郎

旅館　西北街百七十三號正金銀行西三軒　東茂旅館

料理　元神廟街百三十三號　千鳥　店主　吉住善藏

料理　永世街百六十四號　沖の島　店主　中川彌三郎

料理　永世街八十六號　吉野亭　店主　坪田正好

旅館料理　西北街（電話一四五番）　高砂ホテル　高砂亭　店主　片山小みつ

旅館　永世街三十四號（電話十一號）　大和館　店主　前田九一郎

御料理　營口二本町　梅廼家　田村瀧太郎

料理　南永世街第十號　滿洲樓　店主　直塚勝一

料理　[illegible]門街第百〇四號　萬梅　店主　田島彌助

料理　永世街字二本町三百五十九号　まんなをし　店主　和田常松

和洋料理　南永世街　公樂園

旅館料理　永世街百六十六號　金城ホテル　第二金城ホテル　店主　[illegible]次郎

料理　營口平野町　喜樂亭

旅館　永世街七號　東雲旅館　店主　谷口今朝太郎

旅館料理　永世街百二十七號　醉花園　澁谷旅館　店主　[illegible]田留吉

さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街輪の湯角

和洋料理　營口元神廟街一四三号　松月亭　住松信大盛

料理　平野町　都樓　店主　坂本ちか

御旅館　營口永世街一六五號　品川館

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　奉天小西關大街北側　瑞豐館　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　溫泉付大勉強キレーヂライシヒ　奉天小西關大街北側　天神樓（電話　號）

旅館料理店　奉天小西關大街南側　日盛館　館主　入江龍男（電話　號）

旅館料理店　奉天城內大市街東華門宮殿東側　梅松館　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　奉天小西門より一丁西の辻北入　梅ケ枝　館主　辻井ムメ

高等御旅館　奉天小西關大街路北　茂林館（電話二十五號）

旅館料理店　牛肉雞肉すき燒　奉天小西關大什字街南へ入　日章館　日章亭（電話　號）

御旅館　奉天小西門外大街路北　瀋陽館

さるそば　營口支店　奉天小西門外金城館前　更科

御定宿　奉天小西關第五分局八〇一〇號　第二東京館　館主　松田平四郎
今回大改良を加へ旅館專業にし御客樣の便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

遼陽旅館料理屋案内

御旅館料理店　奉天大西門際　新日奉館　館主　淺田アサノ

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝・枝園館

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀[illegible]

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野治三郎

和洋料理　御旅館　遼陽西街西門二一七号　滿洲ホテル　上松榮治郎

奉天　天然淸水氷發賣廣告
倉庫二ケ所　毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外內　大仁洋行

大勉強
一會席　三ッ鉢吸物附　御一人前　銀三十錢より
一まめめし　御一人前　二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號　月日　翁亭

遼陽城內東街
一和洋御料理　遼東館
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館御料理　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　扶桑館　館主　堀田ハル　電話　号

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位様

松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
御座敷和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

美味安價西洋料理　牛莊亭　營口永世街五十二號鍋の湯裏

各國高等雜貨　電話百五十四番　三友洋行雜貨部　營口永世街
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山

高等麥酒スペシヤルライト
新荷着
毎々御引立を蒙り難有御禮申上候扨て麥酒スペシヤルライトの儀今般原料非常に騰貴致候爲め本月一日より左の通り値上げ仕候間左樣御承知被下度尚不相變御引立の程伏て奉願上候　敬具
六月
スペシヤルライト　一函に付　銀十一圓五十錢也
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

諸毒下し　毒掃丸　一名一ヶ月丸
梅毒、そう毒、しつ毒胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭瘡、頭痛、手足に腫物生し困難する人一日も早くためし見よ
軽症ハ二三週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑　毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈藥故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左券凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一失若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份　三角　●一禮拜份　五角
營口永世街（司法部前）
總經理批發　回天堂三木大藥房（電話百九十番）

爲替相場（五月三十一日）
日本向　百〇三圓（東京百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百〇四圓十二（百弗に付）

日本品最近物價表　加藤洋行
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓[illegible]
一美濃紙　[illegible]　七圓五十錢
一狀袋　二十枚　三錢二厘以上四錢
[illegible]

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 80 cts. per month. 4 cts. a copy
本紙定價　一枚ニ付　銀四仙　一ヶ月前金　銀八十仙　半ヶ年前金　四弗八十仙　一ヶ年前金　銀九弗六十仙